

武田 真彦（たけだ まさひこ）

一橋大学教授（経済学研究科および国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム）

生年月日 1957年10月14日

学歴 1973年3月 私立武蔵中学校卒
1976年3月 私立武蔵高等学校卒
1976年4月 東京大学教養学部入学（文科二類）
1978-79年 州立メリーランド大学留学（サンケイ・スカラシップ給費留学生）
1981年3月 東京大学経済学部卒
1985-88年 マサチューセッツ工科大学経済学部大学院留学
1988年7月 経済学博士号取得

職歴 1981年4月 日本銀行入行（営業局、鹿児島支店、金融研究所勤務）
1985-88年 マサチューセッツ工科大学留学
1988年7月 営業局勤務
1989年11月-1992年11月 国際決済銀行（Bank for International Settlements、在スイス、バーゼル）出向、エコノミスト
1992年11月-1998年12月 国際局勤務（副調査役、調査役）
1998年12月-1999年12月 日本銀行から国際通貨基金日本代表理事室に理事代理として派遣
2000年1月-2002年12月 国際通貨基金欧州第1局に出向（Assistant Director）、主としてチェコ共和国、イスラエルを担当
2002年12月 日本銀行を退職し、国際通貨基金の職員となる
2003年2月 アジア太平洋局に異動すると共に、上級審議役に昇格。フィリピン、シンガポール、ベトナム、ラオス等に関わる仕事を指導、監督すると共に、局全体のマネージメントにも従事。また、国際通貨基金全体の昇格人事を審査する委員会や、基金職員の Diversity（女性比率の向上、国籍の多様化等）を図るための委員会のメンバーとして、組織全体のマネージメントにも関与。
2007年4月 局次長に昇格。
2008年1月 IMF を休職し、一橋大学教授（経済学研究科および国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム所属）として教職に就く。
2010年4月 IMF アジア太平洋局次長に復職。インド、オーストラリア、ベトナム、バングラデシュ等に関わる仕事を指導、監督するとともに、局全体のマネージメントにも従事。
2013年4月 IMF を退職。
9月 一橋大学教授（経済学研究科および国際・公共政策大学院アジア公共政策プログラム所属）に復職。

論文等

“The Liberalisation of Japan’s Financial Markets: Some Major Themes”, BIS Economic Papers no.34, November 1992 (co-authored with Philip Turner).

“Inflation in East Asian Countries”, in *The Asian Financial and Capital Markets: Growth and Interrelationship*, Juro Teranishi and Shin-ichi Fukuda, eds., QRI Research Report 402, October 12, 1993.

“急激な資本流出入と東アジア諸国の政策対応”、「アジアの金融資本市場：自由化と相互依存」（河合正弘編著、日本経済新聞社）第11章、1996年5月（岡崎竜子との共著）。

“Usefulness of Private Inflation Forecasts in Inflation Targeting”, in *Statistical Implications of Inflation Targeting: Getting the Right Numbers and Getting the Numbers Right* (Proceedings of an IMF Seminar held in Washington, D.C., February 28-March 1, 2002).

“国際金融危機後の国際政策協調のあり方”、Business and Economic Review、2009年3月号、日本総研

“アジア債券市場の育成について：回顧と展望”、アジア金融システム研究会、日本銀行、2009年7月（高安健一、永野護、三重野文晴、長井滋人との共著）

“政府系ファンド（SWF）の役割と政策的インプリケーション”、日本経済調査協議会調査報告書、2009年10月29日（主査として執筆）

“資産価格バブルとマクロ経済政策”、フィナンシャル・レビュー、101号、2010年7月、財務総合政策研究所 (“Asset Price Bubbles and Macroeconomic Policy”, *Financial Review* Vol. 101, Policy Research Institute, Ministry of Finance, July 2010.)

講義・講演等（過去3年間）

- “IMF’s Role in the Global Economy”, at the National Economics University, July 8, 2011, Hanoi
- 「IMFの役割と日本の国際化」、東京大学教養学部「グローバル時代をどう生きるか——プロフェッショナルが語る新たな可能性」講座、2011年7月11日、東京
- “External Imbalances: Are We Reducing Them?”, Executives’ Meeting of East Asia and Pacific Central Banks (EMEAP), Monetary and Financial Stability Committee, November 18, 2011, Oakland, New Zealand
- “Financial Stability in Regional Perspective”, Asian Development Bank Financial Sector Forum, February 7, 2012, Manila
- 「日本の国際化について」、お茶の水大学「女性リーダーへの道」講座、2012年10月9日、東京

- “Implications of the Eurozone Crisis for Asian Economic and Financial Stability”, at Conference sponsored by the Asian Development Bank Institute on “The Eurozone Crisis and Its Implications for Asian Economies”, 2012年10月12日、東京
- IMFの機能と役割に関する講義を、立命館大学、成蹊大学、早稲田大学で実施（2013年11-12月）。